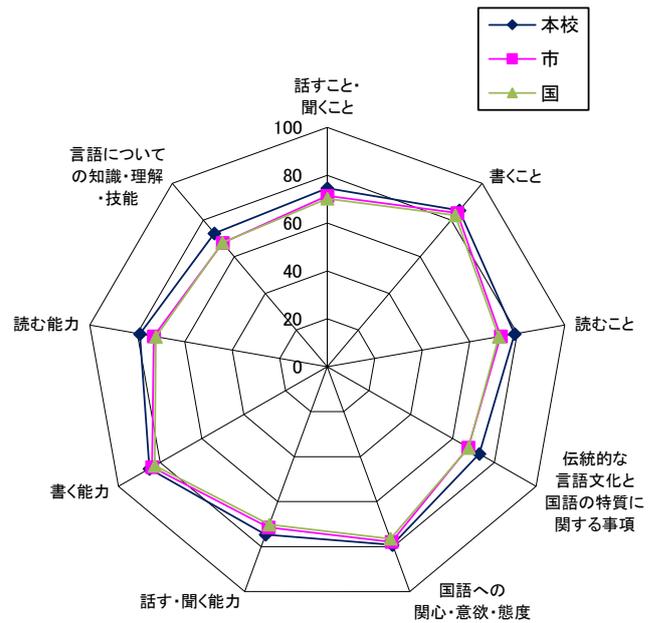


宇都宮市立星が丘中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.6	71.4	70.2
	書くこと	85.2	83.9	82.6
	読むこと	78.9	73.0	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.8	67.5	67.7
観点	国語への関心・意欲・態度	79.2	77.9	76.5
	話す・聞く能力	74.6	71.4	70.2
	書く能力	85.2	83.9	82.6
	読む能力	78.9	73.0	72.2
	言語についての知識・理解・技能	72.8	67.5	67.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○全ての設問で全国及び市平均を上回っている。 ●問題2三「話合いの流れを踏まえ、『どうするかきまっていないこと』について自分の考えを書く」では、無解答率が7.7%とやや高い。正答率についても、全国や県の平均を上回ってはいるものの、64.0%と低めである。	・目的や条件に合わせて効果的に話す力を養うため、スピーチや討論など多様な音声言語の学習を取り入れる。また、観点を明示した聞き取りメモを用意し、話の内容や表現の仕方を判断・評価する練習をさせる。 ・普段の授業の中でも、表現の仕方や敬語の使い方などのポイントを示し、場の状況や相手の様子に応じた効果的な話し方について意識させる。
書くこと	○全ての設問で全国及び市平均を上回っている。 ●問題3二「広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに『魅力』の具体例を書き加える」の無解答率が8.4%であり、県の6.8%、国の7.9%より高い。	・物語のあらましや登場人物の心情をまとめるなど、授業の中で短文を書く機会を増やし、文章を書くことに慣れさせたい。 ・自分の意見を書く際には、根拠をはっきりと示すことを意識させる。
読むこと	○全ての設問で全国及び市平均を上回っている。 ●問題1二「『海外に広がる弁当の魅力』で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する」では、全国や県の平均を10ポイント以上上回っている。	・登場人物の心情に立って考えさせる場面を多く設定したり、情景描写から心情を読み解く手がかりを示したりしながら指導していきたい。また、朝の読書活動や本の紹介を通して、文学的文章に多く触れさせる機会をつくりたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○全ての設問で全国及び市平均を上回っている。 ●問題1四「『声の広場』への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前を住所を書く」では、全国や県の平均を上回ってはいるものの、正答率が64.8%と、低めである。	・授業中に辞書の活用を意識して行い、漢字や語句についての知識を広げさせる。 ・また、漢字学習用のプリントを用意して継続的に取り組ませ、正確に漢字を読み書きできる力を育てたい。